

〈ラベンダーの季節〉

キキョウに続きラベンダーも咲き出した。そばに行って葉っぱに触れると特有の清涼感あふれる香りが鼻孔をくすぐる。キキョウと違って一つ一つの花は小さくあまり存在感はない。唇の形をしたシソ科特有の咲き方だ。が、まとまると俄然鮮やかな色彩が目を惹き、広大なラベンダー畑で風になびくさまはさながら大海原での天女の舞。我が家のラベンダーはたった一輪だが、それでも直径 200 cm 近い株立ちとなりそれなりの風情を醸し出している。



虫たちにもこの匂いが分かるのだろうか、ミツバチやシジミチョウも花から花へとせわしなく飛び回り盛んに吸蜜している。食べ放題飲み放題のラベンダーレストランは虫たちで大賑わいだ。よっぽど美味しいのかカメラが近づいてもご覧の通り、夢中で食事に専念。そんなに美味しいなら指をくわえて見ていることはない、こちらもハーブティーでいただきます。コップに花のついた穂先を数本入れ沸かしたお湯を注ぐ。瞬間、あたりのよどんだ空気が一掃され、鼻の中から香りの粒子が入り込んでくる。

アア、シアワセナヒトトキ・・・。

